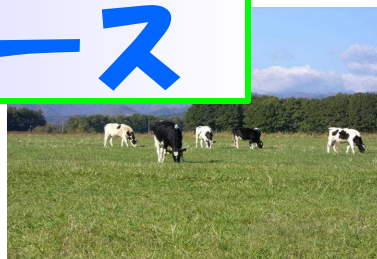


▼ 公社HP

<https://www.adhokkaido.or.jp/>



農業公社 ニュース



(第21号)

年明け早々、最大震度7・マグニチュード7.6の能登半島地震が発生しました。亡くなられた方々や被災された方々に、衷心よりお悔やみ、お見舞いを申し上げますとともに、一刻も早く日常が取り戻されるよう心から願っているところです。

新しい年がスタートして早1か月が経過しましたが、今年の冬は寒暖の差が激しい不安定な天候となっており、日々の交通安全や健康管理に十分留意していく必要があります。

「農業公社ニュース」の第21号をお届けいたします。

■ 令和5年度第1回臨時理事会を開催

さる1月18日、今年度1回目の臨時理事会を開催いたしました。

当公社の理事会は、定款に基づき「通常理事会」を年間4回、3か月ごとに開催しているほか、例年1月に事業計画の変更や次年度事業に係る諸手続きを行うため、「臨時理事会」を開催しています。

開会挨拶で小田原理事長からは、冒頭、能登半島地震により亡くなられた方々へのお悔やみ、被災された方々へのお見舞いの言葉の後、昨年を振り返り、

「新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会・経済活動の制約が大幅に緩和されましたが、農業については、生産資材価格が高騰・高止まりするなど依然厳しい環境にあります。こうした中、記録的な猛暑等により、米や野菜、豆類、てん菜などの農産物の品質低下が生じ、また、酪農については生産抑制に加え、乳牛の日射・熱射病が多発し、生乳生産量が落ち込みむなど、特に夏場の猛暑が生産に大きな影響を与える結果となりました」

「本道の農業・農村は、経営環境が厳しさを増す中、昨今の『気候変動への対応』など、これまで経験のない状況に直面しています」

「経営の安定や生産の維持・向上、さらには地域社会の維持に向けて、様々な観点からの課題解決が必要です。農業者をはじめ関係の皆さまには、大変なご苦勞をされているものと存じております」といった発言がありました。

国においては、昨年末(12/27)に「食料安全保障強化政策大綱」が改定され

たほか、「基本法改正に向けた方向性」などが決定され、開会中の通常国会に基本法の改正案や関連法案を提出することとしておりますが、「当公社が担う『人と農地』の構造政策は、食料の安全保障・安定供給の『根幹』となるものであり、今後さらに重要性が増すものと考えています。計画的かつ継続的な事業推進が大変重要であることを改めて認識しております」と強く表明がありました。

また、基盤強化法等改正関係法令の施行に伴う対応について、「来年度からの円滑な新制度移行に向け、関係機関・団体、さらには地域とも連携・協議しながら、事務処理方法や手数料などの検討を進めています。農地中間管理機構事業に係る手数料については、効率的な業務運営を図った上で、農家の方々の負担に配慮しつつ、『継続的かつ安定的な事業実施』が可能となるよう設定させていただきたいと考えております」と理解を求めました。

議事については、「令和5年度事業の進捗及び収支見通し」、「令和6年度国費予算概算決定・5年度補正予算に係る公社関連の事業概要」、「農地中間管理機構事業に係る手数料（案）」について報告を行い、理事・監事から熱心な質疑等が出されるとともに、決議事項である「令和5年度事業計画の変更や収支予算の補正」のほか、「令和6年度事業計画大綱（案）」、「令和6年度事業の一部執行」などについて審議が行われ、全会一致で承認されました。

これまで経験のない厳しい農業情勢は、当公社の経営にも大きな影響を及ぼしていますが、年度末に向けて、なお一層の収支改善に取り組んでいくこととしています。



▲ 第1回臨時理事会の様子

【総務部】

■ カナダの大地で元気に研修中！

～ 海外研修生巡回指導で、富田佑亮さんの研修先農家を訪問 ～

今年度、カナダ・アルバータ州の酪農家で研修を受けている富田佑亮さんの状況を確認する巡回指導のため、当公社担い手本部職員がさる1/22～27の日程で訪問しました。

カナダで当公社からの研修生の受入窓口を担っている団体（IREC）のスタッフにお願いして、富田さんの研修先に案内いただき、ホスト家族の手作りランチをいただきながら、近況等を語り合いました。

ホスト家族との関係は非常に良好で、すっかり溶け込んでいました。出発の際に不安だった語学力も、日常会話や農作業に支障のないレベルになっており、作業の方も、主要な部分を任されるなど信頼を得ている模様で、自信に満ちあふれて会話している富田さんの笑顔が印象的でした。

我々が訪問する前週に、北米を極寒波が襲い、研修先でも「-44℃」を記録したとのことであり、バークリーナーが凍結し、その復旧に富田さんが大活躍したとの話も伺うことができました。

その後は、IRECが提携している周辺地域の受入農家を案内していただき、今後の研修生派遣の参考となる情報を収集しました。富田さんも研修終盤ということで、他の牧場も勉強したいとの意向もあり、可能な限り同行の上、熱心に質問していました。

カナダの農村の雪景色は北海道によく似ていましたが、規模は2ケタ位、違う印象です。一日車で走っても、同じ風景が続いていました。

富田さんは3月に帰国予定です。来年度の報告会が今から楽しみです。



◀ ホスト家族とのランチ



◀ 研修先の牛舎

中央：富田さん
右側：IRECスタッフ
タマラさん

カナダの農村の冬 ▶



【担い手支援部】

■ 緊急告知！ 北海道新規就農フェア開催

～ 3/2 ホテルポールスター札幌、56ブース出展 ～

今年度2回目となる当公社主催の就農相談イベント「北海道新規就農フェア」を、きたる3/2（土）10:00から、ホテルポールスター札幌で開催します。

全道から56地域がブース出展で、就農・農業体験情報をワンストップで収集できる、お役立ちのイベントです。

地域のアピールポイントを一枚にまとめて展示する「ポスターコーナー」も好評で、地域担い手育成センターも作成に熱が入っています。

お気軽に、見学にでもお越しください！

当公社HP <https://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/info/3924/>



【担い手支援部】

■ 作業負担の軽減と施工品質の向上をめざして！

～ 草地整備におけるICT施工の取組を推進中 ～

当公社では、主力の建設用トラクターにおいて、新しい車両を段階的に投入しています。令和2年度以降の新車には、「自動操舵システム」が標準で組み込まれており、人員体制の面からも、オペレータの作業負担を軽減するとともに、施工品質の向上をめざしています。

自動操舵システムを使用する際には、施工中にGPSの補正情報をリアルタイムで取得する必要がありますが、当公社が施工する圃場は、全道各地に広がり、農協などが整備したRTK基地局のカバーエリア外にも多くの場所が存在しています。そのため、携帯電話回線を介してインターネットを利用する「Ntrip方式」及び、より高精度な補正が可能な「仮想基準点方式（VRS）」を採用して施工を実施しています。

圃場に対して均一に施工するためには、高度なオペレーションが求められますが、自動操舵システムの強力なサポートにより、オペレータからは「微調整が少なくなり、作業が楽になった」「熟練技術者以上の作業ができる」といった好評の感想が寄せられているところです。

しかしながら、起伏が激しく地形の厳しい圃場や、携帯電話回線の電波が微弱なエリアでは、インターネットの接続が制限され、補正情報の取得が難しい場面があります。そのため、接続状況の確認や手動作業への切り替えが必要となり、作業に手間がかかることが課題となっています。



◀ 自動操舵システムを
搭載したトラクター

自動操舵システムを
活用して施工した
圃場 ▶



こうした経験を踏まえ、適切な状況での活用を見極め、熟練者から新人までオペレータ全員が利用できるよう導入を進め、一層の施工品質向上に向けて努力してまいります。

なお、GPS補正情報サービスにおける当公社の取組概要が掲載されています。こちらをご覧ください。

<https://www.jenoba.jp/case/20230701/>

▲ 「草地造成改良作業のスマート化にネットワーク型RTKの活用」

【農場整備部】

■ 冬期の労働災害・交通事故の未然防止に取組中

牧草地や耕作地などの開発整備で使用した農業開発機械は、冬期間に当公社機械センターで点検・整備するため、冬期整備期間中の事故防止に取り組んでいます。また、北海道警察の交通安全情報を公社内掲示板に掲載して、冬型交通事故防止にも努めています。

冬期整備事故防止

- ★整備前 整備対象機械の完全停止と整備場所の安全確認
- ★整備中 整備手順の遵守・専用工具の使用・保護具の着用
- ★整備後 試運転時の他整備員への合図と安全な始動操作
※感染症対策として、公社機械センター建屋内の換気・消毒なども併せて実施

＜公社機械センター＞

＜安全パトロール＞

冬期整備作業時の安全最優先を注意喚起して、安全な点検・整備に取り組んでいます。

冬型交通事故防止

＜スリップ事故防止＞

- ・雪道・凍結路面での急発進、急ハンドル、急ブレーキはスリップの原因！
- ・慎重なペダル・ハンドル操作による安全運転の励行！

＜歩行者の安全確保＞

- ・雪道・凍結路面はブレーキ後に完全停止するまでの距離が夏の2倍以上！
- ・交差点の右左折時はスピードダウンして、歩行者の見落としに十分注意！

＜天候情報の出発前確認＞

- ・吹雪などの視界不良時の交通事故は重大事故につながる恐れあり！
- ・天候情報（警報・注意報など）を出発前に必ず確認（悪天候時は運転中止）！

※ 飲酒運転をしない、させない、許さない

【統括労働安全衛生委員会】

■ 草地基盤を最大限に利用した低コスト型放牧酪農に取り組む

～ 中川町の酪農家 ^{がんだう}丸藤夫妻が
「令和5年度農林水産祭 内閣総理大臣賞」を受賞 ～

丸藤夫妻は、平成12年に北海道へ移住後、平成20年に中川町に公社営農場リース事業で新規就農しました。現在は乳牛70頭の家族経営で、成牛42頭は放牧を中心に濃厚飼料給与量を極力抑えた飼養体系を確立し、飼料TDN自給率80%を達成するなど、低コスト型の放牧酪農経営を実践しています。

また、所有する草地の土壌条件が悪く生産性が低いため、畜産担い手育成総合整備事業（公社営事業）を活用した草地整備や暗渠の整備に取り組み、放牧用草地、採草地、放牧・採草兼用地の植生改善をデータに基づき進めており、積極的な草地改良による牧草の高品質化に取り組んでいます。

さらに、夫妻は家族経営協定を締結されており、英介氏は草地・飼養管理、紗織氏は搾乳作業という分業体制をとられているほか、英介氏は中川町新規就農推進委員を務め、研修生受入や就農後のフォローも積極的に行う地域のリーダーとして活躍されていることなどが受賞理由として高く評価されました。



▲ 丸藤牧場の見事な草地でのんびりと過ごす牛たち

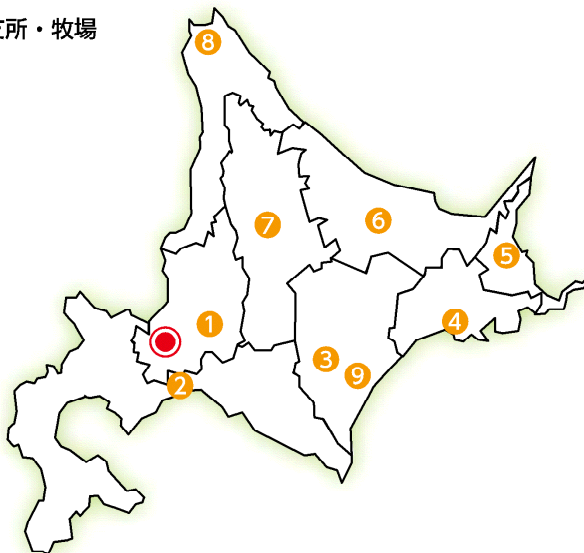


▲ 内閣総理大臣賞を受賞した
丸藤英介さんと妻の紗織さん

【旭川支所】

本所・支所・牧場所在地

● 本所 ①～⑨ 支所・牧場



本所

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23
TEL. 011-241-7551 (代表) FAX. 011-271-3776
<https://www.adhokkaido.or.jp>



監査室
TEL. 011-241-7557

農業経営相談室
TEL. 011-522-5579

農場整備部
TEL. 011-241-7554

総務部
TEL. 011-241-7551

農用地部
TEL. 011-241-5751

畜産部
TEL. 011-241-5761

担い手支援部
TEL. 011-271-2255

農村施設部
TEL. 011-241-5701

統括労働安全衛生委員会
TEL. 011-241-7557

支所・牧場

① 岩見沢支所

〒068-0025 岩見沢市5条西5丁目2番地1 空知農業会館
TEL. 0126-23-2178 FAX. 0126-23-4260

② 苫小牧支所

〒053-0021 苫小牧市若草町5丁目5番3号日胆農業会館
TEL. 0144-32-8171 FAX. 0144-32-3215

③ 帯広支所

〒080-0022 帯広市西12条南6丁目3番地1 農協連ビル
TEL. 0155-65-0607 FAX. 0155-33-1503

④ 釧路支所

〒085-0018 釧路市黒金町12丁目10番地 釧路農業会館
TEL. 0154-22-1538 FAX. 0154-25-4798

⑤ 中標津支所

〒086-1007 標津郡中標津町東7条南1丁目1番地2 根室農業会館
TEL. 0153-72-3296 FAX. 0153-73-2080

⑥ 北見支所

〒090-0833 北見市とん田東町617番地
TEL. 0157-25-2826 FAX. 0157-25-9188

⑦ 旭川支所

〒070-0030 旭川市宮下通4丁目2番5号 JA上川ビル
TEL. 0166-25-2613 FAX. 0166-26-3464

⑧ 稚内支所

〒097-0001 稚内市末広4丁目2番31号 宗谷農業会館
TEL. 0162-33-3321 FAX. 0162-33-7339

⑨ 十勝育成牧場

〒089-2261 広尾郡大樹町字尾田708番地
TEL. 01558-7-5121 FAX. 01558-7-5159